

# 内航フェリー等支援についての緊急提言

既存高速ネットワークの有効活用を図るため、かねてから高速道路料金の引き下げを要望してきたところであるが、本年3月から「生活対策」として大幅な料金引き下げが実施されたことにより、より一層の地域振興や交流拡大が図られることと期待している。

一方、重要な公共交通機関・輸送機関であるフェリー等については、これまでの高速道路料金の引き下げ等に対し、フェリー会社等が諸経営改革を行うことにより、航路維持に務めてきたが、今回の高速道路料金の引き下げ等の影響は企業努力で補える範囲を超えるものとなり、フェリー等による海上輸送の存続が危惧される状況となっている。

フェリー等航路が存続しなくなった場合、地球温暖化の防止に有効なモーダルシフトの後退や大規模災害時における緊急物資の海上輸送ルートを失うなど、地球環境、危機管理及び地域経済に与える影響は甚大である。

このたび、平成21年度補正予算案において、内航フェリー等に対する緊急対策が打ち出されたが、継続的にフェリー等航路を支援する必要がある。

このため、フェリー等輸送の危機に対して、その安定的な航路の確保を図るため、次の支援策を国において講じるよう強く提言する。

## 1 航路維持に必要な制度や施策の創設

内航フェリー等が他の移動手段・輸送機関に対する競争力を向上し、航路を維持するために必要な経営基盤の強化に繋がる制度や施策を創設すること。

## 2 地方公共団体が行う支援への財政措置

地方公共団体が行う係船料・港湾施設の占・使用料の減免等に対する所要の財政措置を講じること。

平成21年6月2日

## 近畿ブロック知事会

福井県知事	西川 一誠
三重県知事	野呂 昭彦
滋賀県知事	嘉田由紀子
京都府知事	山田 啓二
大阪府知事	橋下 徹
兵庫県知事	井戸 敏三
奈良県知事	荒井 正吾
和歌山県知事	仁坂 吉伸
徳島県知事	飯泉 嘉門
鳥取県知事	平井 伸治